

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－85）、MOX燃料加工施設（1－81）」

2. 日時：令和3年11月19日（金） 13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職

日本原燃株式会社 須藤 専務執行役員 燃料製造副事業部長 他12名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部 原子燃料サイクルグループ  
グループリーダー

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ  
グループマネージャー 他1名

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー

大成建設株式会社 原子力本部 原子力構造技術部 第二計画室長 他3名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 12 月 24 日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000124.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html)

- ・ 令和 3 年 11 月 18 日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	録音開始しました。
0:00:03	それでは紙とタケダさんのほうでしっかりお願いします。
0:00:09	ありがとうございます。規制庁タケダです。
0:00:11	それではただいまから、日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:16	本日のヒアリングは例は2年12月に申請があった設工認申請について、11月18日提出の資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:27	まず規制庁側の出席者ですが、規制庁緩和はハバサキさんだけでよろしいでしょうか。
0:00:35	はい、本庁がハバサキだけです。
0:00:39	ありがとうございます。
0:00:41	ちょっとWEBからの参加が、
0:00:44	ツガネ。
0:00:46	厳しいのカミデ。
0:00:48	コサク
0:00:50	モリノ
0:00:51	タケダ以上になります。
0:00:54	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、本日の議題の構成と達成目標について説明をお願いします。
0:01:04	はい。日本原燃の藤野です。まず日本原燃側の出席者ですが、事務局の方から再処理コスト村の長さがオオハシフジノも雲から谷口とストツパなこの遅れて参加する予定待ってます。
0:01:21	本日の説明さですが、フナコシAサトウとオオハシイナズマなど、
0:01:29	あと大成建設さんから高橋様、石黒様、渡辺様、お父様以上の参加していただいております。
0:01:37	本日の資料については今画面表示されております。次回の審査会合に向けた対応方針ということで説明させていただきたいというふうに思います。
0:01:53	平常時です。ありがとうございます。
0:01:56	それではですね
0:02:01	日ヒアリングを進めていきたいのですが、ちょっとなどスケジュールのほうを確認したいんですけど、今後ですね、審査会合を見据えて、どういうふうに日本原燃のほうで、
0:02:14	進めていこうと考えているかちょっと説明いただいてもよろしいでしょうか。
0:02:23	はい。農業面サトウです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:26	次のヒアリングを受けまして、我々が御説明しなければいけない。内容について少ししっかり整理した上で、11月30日に
0:02:45	会合のドラフト版という形を補足説明資料とセットでお出ししようと思ってます。
0:02:53	介護資料については、12月3日のヒアリングをちょっと希望させていただきたいと思います。当初の想定よりもありますので、6日のヒアリングを希望させていただいております。
0:03:10	そういう運営ヒアリングを受けまして修正等はあるかと思しますので、12月の7日に再提出を修正版の再提出して9日に
0:03:25	その修正版のヒアリング、
0:03:31	そして、そのあと修正があれば、さらに改訂版の方の
0:03:38	提出を進めてさせていただいて、今期首てるところでは13日にあの会合かあるということでしたのでそちらに向けて対応していきたいというふうに考えておりました。
0:03:57	以上です。
0:04:01	規制庁の武田です。スケジュールの説明をありがとうございます。
0:04:07	では改めての確認ではあるんですけど、10月29日の会合については、説明はできないということでそれを間違えないですか。
0:04:19	日本原燃佐藤です。はい。ちょっと整理資料等が結構、結構あるということがわかっていましたので、ちょっと29日のほうには間に合わないというふうに判断しております。以上です。
0:04:39	規制庁の武田です。はい、ありがとうございます。
0:04:43	ここまでの説明で軽重側から括弧にございますでしょうか。
0:04:56	規制庁込みです。今12月13をめどにと言われてましたけど、内容をどこまでやるかっていう話で、今日の資料をだっと基本的には
0:05:12	合理化モデルの見通しをどうやっていっていかってという方法のところメインになってますけど、そのあと実際の検証をして、モデルの見極めをするという流れだと思いますけど、12月13の時点ではどこまでやるつもりなので。
0:05:30	残る場合はそのあとどうするのかっていうところまで説明いただけますか。
0:05:36	はい、野辺佐藤です。まず13日のなっていないようでございますが、まず合理化モデルのこの妥当性の確認方法は、ちゃんとしてどうかと。
0:05:52	あと、その妥当性の検証結果、いわゆる
0:05:57	保守性も含めて、技術的科学的なモデルになっているのか。
0:06:03	そういうものと、その大前提になるんですが、そもそもこの評価自体、どういうちゃう。
0:06:11	これに着目してやっていくのかっていう前提の整理、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:15	それと
0:06:18	作業が間に合えばなんですが、上部架構の波及的影響評価の見通し
0:06:26	についても、
0:06:30	を説明させていただきたいというふうに今のところは考えております。以上です。
0:06:40	規制庁カミデです。そうすると、今まで何度も審査会合でやってます。この液状化の話っていうのは真砂間に合えばっていう話でしたけど、12月13でフィックスさせたいっていうそういうつもりです。
0:06:59	だってことですかね。
0:07:05	表現サトウです。はい。
0:07:08	伊藤島でお示ししまして、その詳細なエビデンスにつきましては、負ってすぐ出せるように準備していきたいと考えております。
0:07:21	以上です。
0:07:25	規制庁カミスそうすると同姓の経理印象どうやってやるかっていうポイントがあって、それをある程度見極めてから、表をモデルの確定のための検証というのを行った。
0:07:43	そのあと等をさらに波及影響の評価結果ですね設計の標高結構の見通しを得るための解析があってそれを取りまとめて、9ポツと思いますけど、
0:07:59	どういうふうに、ホールドポイントを設定してですね、それがいつごろっていう計画になってますね。
0:08:09	はい。まず
0:08:13	ご理解モデルの妥当性の確認を県aにつきましては、
0:08:21	来週中には我々関係者の中でしっかりホールドポイントを持ってそれが示しできることを電極さんのレビューをいただきたいというふうに考えてますので、検証経過につきましても、その週の末にはですね、出てきた結果の分析
0:08:41	超過踏まえて、
0:08:46	ホテル業を科学的技術的妥当性等を保守性が結果からも確認できるということを欧州内週末には本当ポイントとして直接すいません。
0:09:01	規制庁コサクですけど、何か。
0:09:04	大丈夫ですか。
0:09:07	まだその最初のホールドポイントで何をやるべきかが確定してないのに、次の作業のスケジュールができてるって。
0:09:16	日本原燃のプロジェクトってちょっとおかしくないですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:24	名保険サトウでございます。計画としてそういったステップを踏むさせていただきたいということでちゃんと事前の守れる合理化っていったところを確認した上で、次に進むようには考えております。以上です。
0:09:43	規制庁コサクですけど、だとして、今の一つ目のホールドポイントがいつで、
0:09:50	同じ的に次のホールドポイントまず作業は終わってますって何ですか。
0:09:56	失礼しました。まず上縁の合理化の妥当性については来週の早い段階で関係者で確認したいというふうに考えておりました。
0:10:11	そのあとですね、週末ぐらいにはなるかと思うんですが、
0:10:18	それを裏付ける、検討結果、
0:10:23	今出ていれば、デリバっていか出して、そこでも今一度、
0:10:31	データをもとにした確認を行いたいというふうに考えておりました。
0:10:36	地方ですとするでしょ。規制庁コサクですけど、その間数日しかないですけど、皆さんの検討プロセスって、
0:10:44	ほかの話では各段階に二、三日必要だとかっていうので。
0:10:50	ほぼ一つのホールドポイントで1週間単位です過ぎてましたけど、
0:10:56	この耐震の関係は、
0:10:58	そういうふうにならずにとその時間内でそのホールドポイントまでの対応ができるっていうことになってるんですか。
0:11:07	はい。
0:11:08	増減サトウです。まずこれからモデル妥当性につきましては、一般現在ももちろん作業を進めておりますし、それを今お示しできるようにしっかりと資料としてまとめるというところを、
0:11:26	これはもう見通しを得てますので、
0:11:31	それと、
0:11:33	コサクです。すみません、たびたび申し訳ないの見通しを得てますんでっていうのを、
0:11:39	だったら、今日のこの資料にならないですよ。
0:11:44	見通しを得ている人が各書類とはとても思えないんですけど。
0:11:51	はい。
0:11:53	はい。
0:11:58	日本原燃ストップ、
0:12:08	こちらの資料につきましても、ちょっとそこまではっきりとした組み込み答申についての言及ができておりませんが、我々の作業としては、ステップステップバイステップで進んでいるというふうに考えておりましたんですが、規制庁コサ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	クですけど見通しがちゃんと説明できない人はステップバイステップでも何でもできないですよ。
0:12:31	それで見通しを説明できるように頭がこうついてきていないということをまず自分でちゃんと認識をしないとスタートしません。
0:12:40	それを事前の面談なり審査会合なりに話をしているのに、
0:12:45	全然変わってないということをよくサトウ 3 というよりは、
0:12:50	フナコシさんなり何なり、
0:12:53	一番上になると 3 かもしれませんけど。
0:12:57	原燃全体としてちゃんと認識しないと何も変わらないと思いますけどね。
0:13:05	日本原電のフナコシです。
0:13:08	妥当する合理化モデルの妥当性、それから保守性の確認の方法についての計画について確認計画の段階でそれが妥当かを確認するというのがまず最初にあるというのはしっかり認識しております。その上で、
0:13:24	その計画に基づいて検証を行ってねらい通りの検証結果になっているのかというのを確認した上で、
0:13:32	次の合理化モデルを用いた全般の解析に移るというステップは認識しております。
0:13:41	それでそれぞれのポイントで、
0:13:43	関係したの確認と電力社内の
0:13:47	テレビを経て進めていくということですが、同時にそこは
0:13:55	効率的にSPEEDISPスピーディーに進めていきたいということで、3 日の計画を立てているわけですが。
0:14:04	以上です。
0:14:05	その要所要所についてヒアリング
0:14:09	資料をNRIさんに提出してヒアリングを経て進めてもらいたいと考えております。以上です。
0:14:16	規制庁コサクですけど、
0:14:19	どう進めなきゃいけないのかの認識はされてるのは理解してます。
0:14:25	ただ、入口の考え方が、
0:14:29	整理できてなかったら、
0:14:31	議論だけでずっと続いてしまっていてですね。
0:14:35	その次のプロセス云々なんて言われても平行してやってますからって言ってるその並行してやってる内容自体が正しいとは思えなくなっている。
0:14:43	ということなので、日並行してやってるのでとんとんと下がって、これさえまとめればとんとんとと行くんですけど言われてもよくわからないと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:53	ということです。
0:14:56	すいませんちょっと途中で私割り込んでしまいましたけど、
0:15:00	話を元に戻していただいて、
0:15:03	仕切り直しをどういうふうにすぎなくていいのかわかんなくなっちゃったんですけど、カミデさんすいません、よろしくお願いします。
0:15:12	はい、三井です。
0:15:16	ちょっと続き的なところで話を聞きますけど、先ほどの話だと思うモデルも妥当性確認をとか、
0:15:26	確定するの5第1週、
0:15:29	SAFERペレットええええ。
0:15:32	見極めは第1週後半に終わると。
0:15:36	ということなんで、まずはその方、
0:15:41	妥当性確認の方法で妥当性確認のための刑事処作業それはいつスタートするんですか。閉校だっというんでもう始まってますか。
0:15:55	日本原燃、佐藤です。
0:15:58	妥当性の検証にあたっては何ていうか確認しなければいけない技術項目ありますのでそれは今人事やっているところでございます。
0:16:10	以上です。
0:16:12	規制庁、上出です。そうすると、
0:16:20	なぜ今日の土今日の資料というのはそれ全部落とし込んでいるんですかやっぱりよくわからなくて、もう評価を進めてられるんだったら、兵庫妥当性の確認方法でも固まってっていう。ここに出てこなきゃいけないんですけど。
0:16:36	今この資料に表現できたらいいものって何か顕在化してるんですかね。
0:16:47	はい。
0:16:48	日本原燃佐藤でございます。
0:16:53	一度確認例も出したときにはその点についても言及してはいかんですが、今回ちょっと入口のところの整理をもっとしっかりやってからという、
0:17:07	お話もありますので、その資料については、今回、点けせずに改訂版という形で出させていただいております。
0:17:16	その30につきましては、その点、その点を踏まえて、入れ込んだ、資料提示のほうをさせていただきたいと考えております長です。
0:17:32	規制庁カミデですすいませんちょっと横からなかったんですけど例えば今日の資料の何ページのほうところの情報が書き切れてないんで、ここが増えますみたいな形でちょっと説明いただければと思うんですけども、もう一度、すみません、お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:52	はい、日本原燃佐藤です。
0:17:54	今日の資料で言いますと4ページ目、こちらは詳細モデルと比較した保守性ですとか、あとモデルを解析精度後設定パラメーターの適正であるところ、こちらについては、整理の方をして進めておりました、
0:18:12	そちらをちょっと余りにも細かくなり過ぎた資料だったのでそちらについては今回、割愛してお出ししてしまいましたが、
0:18:26	説明をしたかったところとしては
0:18:31	技術的なコードが4ページ目の内容をもう少し噛み砕いた御説明しようと考えておりました。以上です。
0:18:43	規制庁カミデですから4ページ目の新発の話を読みますけどかいつまんで一つ具体例を言ってもらえれば、
0:18:55	お願いします。
0:19:00	はい。うん原燃サトウです。
0:19:03	例えばcポツですと、
0:19:06	まず断面、こちらは詳細モデルに比べと比較すると
0:19:13	詳細モデルが2断面に対して合理化モデル1断面ということでその設定のまじ考え方ですとか、そのタケダです。すいません、規制庁浴びすいませんいきなりよくわからなくなりましたんですけど3ページ目だと詳細モデルは、
0:19:30	4断面合理化モデル2段階目って書いてあっていきなり半分になってしまうっていう効果がなくなっちゃったんですけど、もう1回説明いただけますか。
0:19:42	はい、どうもサトウです。
0:19:48	キシノ
0:19:50	3ページ目の
0:19:53	きちんと断面のところかと思いますが、こちら詳細モデル、これはNSEWそれぞれ中央というものに断面図ございますので4断面になります。
0:20:06	それに対して合理化モデルは、NSG1断面EWC断面というような形でモデル化の方進めております。
0:20:17	この
0:20:20	詳細に対して中央端部といったものを一つにまとめた、そのモデル化がどういう目的でやったのか、その妥当性はどうやって確認するのか、あと、それは本当に妥当なのかっていったところ、御説明しようと思っておりました。
0:20:41	以上です。
0:20:45	済みです。
0:20:48	どういうふうに確認するのかっていうところはもう整理されてるっていうふうに先ほどの説明で聞いてたので、資料には書き切れてないんですけど、どうやって

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	確認するかっていうのは、も決まって評価をしているんだと思いますので、それはどうやって評価するっていうことにしたんですか。
0:21:13	表現についてサトウです。
0:21:15	まずですね
0:21:18	断面自体を
0:21:21	モデルごとの固有周期、こういったものがほぼ同じであることを詳細モデルの中央と端部のこういう周期について確認しますので、それ等合理化モデルの固有周期についても、
0:21:38	相違がないというところをまず確認してまずそういった見通しの上、今度は実際詳細までのほうの断面中央端部の応答等を合理化モデルの
0:21:55	NSで断面を比べて大きな差がないというところをお示ししようと考えておりました。以上です。
0:22:10	規制庁紙低です。その辺の一つ一つについて、きちんと検討プロセスを経て、電力の協力も得ながら、
0:22:26	意思決定をして進めてるっていう、そういう本当にそういうことなんですかね。
0:22:34	はい。人間サトウです。我々よく結果だけをお示して
0:22:41	しまう傾向があったんですが、電力さんからまず
0:22:46	やる目的の整理、それを妥当だと判断する見通しはどういうところでのいるのか、その後ろためにはどういう方法で検証すべきなのかって言ったら、ちゃんと整理の上、日評価出すようにと。
0:23:03	いう、そういう
0:23:05	アドバイスというかし指導いただきながら、
0:23:09	検討のほうは、今進めておるところでございます。以上です。
0:23:17	規制庁カミデです。少しお話を進めますけど、創生と11月30日に提示する。
0:23:28	以降向け資料もあるのか、あと補足説明し量ということですかね。
0:23:34	については、妥当性確認の方法だけではなくて、結果まで検証した結果まで入ってくるって思っていていいですか。
0:23:48	日本原燃佐藤です。はい。結果までお示しできるようにしております。
0:23:54	以上です。
0:23:59	規制庁カミデです。
0:24:02	個人的にはやはり
0:24:05	いまだにちゃんとホールドポイントを設定してステップバイステップで表PARをするんだというのか、話によるとなかなか見えないっていう、ちゃんとやってるのかなっていう疑問系はあるんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:25	ちょっと相談さ規制庁内で相談ですけど、ツガネさん、とりあえずこのまま話を進めていいですかね今日資料の中身について受け確認を進めますか、どうしましょう。
0:24:44	ツガネです。
0:24:47	ちょっとですね、やっぱり
0:24:50	結果というか、すべてパッケージで出さなければいけないという
0:24:55	関連がどうしても事業者の方にあって、
0:24:58	ステップバイステップでやってるとは言いつつ、こちらに掲示する部分についてはまとめてとんていう
0:25:04	続くとちょっと時間のかなと思いつつ、今日の資料については、まさに入口論なんで、この資料できちっと
0:25:13	基本的な考え方が示されていないと幾らそちらで検討を進めていけば、または委員長等で止まったままになってしまうので、まずは今日の資料について、何をどう説明されたのか示してもらって、
0:25:29	で、我々としてこれどうしてもどう考えてるかっていうのは、今回いつ確認はしたほうがいいと思うんですか。ただし、
0:25:41	規制庁紙ベースをやりました通り5等ございます。話は聞くとして、
0:25:48	すいませんスケジュール関係については私のほうからは以上で一般の方からお詳しいです。
0:25:56	すいません繋がりですけども、ちょっと確認なんですけれども、
0:26:00	今週の初めのほうでは11月25日資料掲示するというお話だったんですけども、その資料の提示が30日伸びたという理解でよろしいのでしょうか。
0:26:13	原電サトウです。
0:26:17	本日ちょっとヒアリングに向けて少し入口のところを整理
0:26:24	ですとか、あと資料自体のちょっと取りまとめやっておったので、ちょっと25日に今想定していた資料すべてお出しするっていうのは少し厳しくなったので、30日に提出させていただきたいというふうに考えております。です。
0:26:42	ツガネです。規制庁ツガネです。今の説明は理解したんですけども、やはりその15日審査会合とか身体もらったので、そちらが説明されたスケジュールが全くその
0:26:57	1項の可能性の低いスケジュールを提示されていて、後になってそのスケジュールはやっぱりませんでした。続いているので、きっかりとですね、拮抗可能なスケジュールというものをこちらに示していただきたいんですけども、
0:27:14	中でしたか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:16	はい、日本原燃佐藤です。本日応対お伝えしました 30 日については、関係者等も話してしっかり目標を持って対応できるようにしていきたいと思います。
0:27:31	すみませんラップアップの際にちょっと私のほうで少し思いが強く過ぎて、今これぐらいならできるだろうということで関係者の確認をしっかりとらずに、
0:27:44	ちょっとお話ししてしまった点につきましては日いたします。申し訳ございませんでした。
0:27:50	以上です。
0:27:53	規制庁ツガネですと、
0:27:56	その組織全体としてですね、きちっとした計画を立てて返信相模本節ということで、
0:28:04	規模ですんで想定しっかりしていただきたいと思います。
0:28:08	日本原燃佐藤です。
0:28:11	原電サトウです。承知いたしました。
0:28:18	補足です。今の話でもう
0:28:23	30 日に出すのも結構も含めて一式って言われたんですけど、ステップバイステップって言ってんのと合わないんですが、
0:28:31	来週ってどうなるんです。
0:28:36	原燃内では既存向けどう
0:28:39	こちらには、
0:28:41	今日お話をしたやつを資料として再整理をして提示するみたいなことはやらずに 30 日に結果でと思うんですか。
0:28:51	そこまでの議論は今日できると思われてるんですか。
0:28:55	また社内でレビューも終わっていないという
0:29:00	日本原燃佐藤です。
0:29:04	結果だけを示す地点ようなことは決してなくてその結果に至るちゃんとしたと考え方が理由を所則なり、その評価方法なりも整理した上で、30 日青示しようと思っております。
0:29:22	いやここごめんなさい。そんなの当たり前なんですけど、それをステップを踏まらずにどんと出すつもりなんですかって聞いてるんです。
0:29:33	今日の資料がなっていないという話。
0:29:38	反省はどこに行ったんでしょうねっていうことなんですけど。
0:29:43	はい。
0:29:44	日本原燃佐藤です。すみませんこれドラフト版で出したときにはちょっとそこをねらってそういったところも確認いただけるようなちょっと資料立てにしたんですがちょっとボリュームが多過ぎるという規制庁コサクですけどすみません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:00	ボリュームの問題ではなくて、
0:30:03	ボリュームに至るまでのそもそもの入口で履き違えているから、ボリュームを見るレベルに達していないという話をしているんです。
0:30:16	そのレベルの人たちが、ちょっと1時間やそこら話をしたところで何で結果まで一式まとめられるっていう状況に持っていけるというふうに僕ら思えるんでしょうか。
0:30:30	ぜひそういうふうに思わせていただけるような説明をさくっと興奮10分とかですねいただけるんだったらすごいありがたいんですけど。
0:30:40	いまだかつて
0:30:42	そういうのを受けたためしがないんですが、
0:30:54	日本学園サトウです。
0:31:05	ちょっとシミズもない中で申し訳ございませんその妥当性をちょっと言葉だけでお示するのは非常に難しいというふうに意識しておりますので、
0:31:20	ちょっと
0:31:24	納得感のあるご回答にちょっとならなく
0:31:28	ならないと思いますので、
0:31:31	ただ我々としては規制庁コサクです。サトウさんの思いをわかった。
0:31:39	てるんですけど。
0:31:40	サトウさんの言い方では我々には理解ができないわけですよ。
0:31:45	だからこそ、電力の支援などは大飯で外部の目から見て、どういうふうに感じられているのかそれに対してどう対応すればいいのかと。
0:31:56	いうことを支援体制の中で現年執行権限が
0:32:02	検討を深めて、
0:32:04	それを資料にまとめてヒアリングに臨んでくださいということはずっと申し上げていて、
0:32:10	その成果があらわれていないということなんですけど、本当に支援をちゃんと受けてるんですか。
0:32:19	2億円サトウです。
0:32:22	九州電力の阿部さんから／日にいつ2通のメールをいただきながらそして開業しながら、今回の資料についても、検証は我々がやっていることをやりたいことを連ねていた点について、
0:32:41	もう少し
0:32:44	うち3と放出量勝算は確認しなければならないことって言ったところに思いをはせた資料2のすべきだというようなことをアドバイスも受けて資料立て方しておりました。また言い訳になってしまいますが、この資料自体

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:02	一昨日しか時間がなかった中でまとめておったものでそういった点では
0:33:11	ちょっと不備が多いというのは我々も今後ちょっと認識しております。以上です。
0:33:22	規制庁コサクですけど、今日の資料の一昨日云々とかの話ではなくて、
0:33:29	そもそも審査会合なり前から話をしていますね。
0:33:33	それを一向に文面に表し切れていないと。
0:33:37	ということ。
0:33:39	なんです。なので、ここ数日の話ではなくて、これまでの支援OKそれを理解をし、具現化していくという活動が全然深くないということだと認識をしてください。
0:33:55	さらに悪化し3は、ここ最近は何か九州電力の方の対応でなかなか支援ができてないというふうに聞いていてですね。
0:34:06	その状況において、どういうふうに原燃お勧め指令支援として、的確に
0:34:13	やっているというところを確証を持って対応してるのかっていうのは今の回答では全く理解ができないので、
0:34:20	その点もしっかりと認識をして対応いただきたいと思います。
0:34:25	また、カミデさんなり、
0:34:28	ツガネさんにお返しします。
0:34:34	ツガネですけども、
0:34:38	基本的にそのラットの場でも今回その合理化モデルと言っているモデルを使う考え方を体系的に説明して欲しいというのを我々繰り返し申し上げていて、それはボリュームがあればいいわけじゃなくて、そのシンプルに1人がちゃんと
0:34:56	立てられている説明をして欲しいということを繰り返し申し上げていて、それがきかなかつたらできないっていうふうなことをもともとそのストーリーがなくて、
0:35:06	そのストーリー考え始めたところなので、期間が足りなかったらしいんなっちゃうんですけど、そういう理解でいいですか。
0:35:17	日本原燃佐藤です。
0:35:19	そういう意味では今回、1ページ目のほうに波及的影響評価で
0:35:30	とはどういうものなのかでそれを確認するためには何に着目したどんな物性に着目した。
0:35:37	その部材がどういうふうになってればって言ったそういう入口のところをしっかりとですね、整理して
0:35:47	ホール経営したつもりで今、御説明をさせていただきたいというふうに考えておりました。
0:35:59	きちっとツガネです。今のお話は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:03	1 ページ目にあるような
0:36:05	不合理です決めたいと、これはもうその当初からこういうことを考えていて、これを説明すべきだったと、そういう説明でしょうか。
0:36:14	はい、上にサトウです。
0:36:18	具体的には無罪の参照とはどういう状態でそれを発生させる入力、
0:36:30	外力っていうのはどういうものなのか。
0:36:33	その外力を
0:36:36	保守的に少し算定するためにはどういったモデル化が必要なのかといったところをまずはちゃんと整理した上で、
0:36:47	そこがじゃあどうなモデルが必要になるのかという整理のほうを進めて
0:36:58	いるところでございます。
0:37:01	以上でございます。
0:37:03	規制庁津金です。今の説明は理解しましたので、それに対して我々が資料提示してもらった説明について、いろいろ
0:37:13	事実確認しなければいけないところがありますので、引き続き続けていきたいと思えます。
0:37:19	以上です。
0:37:22	日本原燃佐藤です。はい、しっかり対応していくようにいたします。はい。以上です。
0:37:36	規制庁、上出です。はい。とそうすると、
0:37:44	本当はもう少しそちらはちゃんと検討をしてから資料をちゃんとしたものをたくさんもらって、それを確認するというふうなプロセスも踏みたいところなんです
0:38:00	が、
0:38:00	とりあえずの話を聞くというところでちょっと話を聞きたいと思えます。
0:38:09	基本的にも資料は読んでいるのでそちらの説明は結構なんです、その上で、この資料に書けてないところとか資料で表現できてなくて先に話しておきたいところ、とある場合の説明をしてください。
0:38:38	日本原燃佐藤です。そういう意味ではこの資料としてお伝えしたい内容は
0:38:50	陳情には整理した。
0:38:53	と考えております。
0:38:57	以上です。
0:39:03	規制庁カミデですもう 1 回だけ確認しますが、今回の話っていうのは妥当性確認の方法の話の資料にまとめた。
0:39:12	ただ、これがちゃんと確定するのは、来週、
0:39:17	の前半だっという話で、今日の資料に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:21	先ほど若干聞きましたけどね。細かいところを切っ下流の部分の細かいところを尋ねなきゃいけないというのが聞きましたけど、今日の資料からどういうところが来週になると増えているんですかねというイメージをお持ちですと、
0:39:43	日本原燃佐藤です。そういう意味ではちょっと3ページをご覧いただきたいんですが、
0:39:54	まずモデル自体、
0:40:00	1号の地盤を少し詳細モデルとご理解モデルで変えております。それはどういう目的で買えたのか、それによってどういう
0:40:16	ご理解モデルに保守性を与えているのか、またそれが本当に保守性として、実際の応答としては表れてきているのかっていったところを
0:40:30	ちゃんと御説明するような準備を進めております。その下に参りますと、
0:40:37	メッシュ数を減らしたために、
0:40:42	細かい
0:40:44	保証する4月スタートする周波数体が少し下がっております。
0:40:49	これも設定の目的、また創出したことによって解析精度を
0:40:58	MAAP影響を与えていないかということについても、見通しを立ててそれを検証した結果をお示しするつもりです。
0:41:08	上部構造については先ほどちょっと言及します。すいません頂部構造なんです。
0:41:15	メザープーツ一つは結構ですけど、そういったところ、或いはモデルの比較差分のところについて執行に移行するっていうところをですね今お話しされてるのほかにあればお願いします。
0:41:30	日本原燃佐藤です。それとちょっと入口論に近いところがあるんですが、ご覧波及的影響を生じ推移させないためにその部材の損傷について着目しております。
0:41:46	その部材が実際どういう力でどういうふうには壊れるとどういった波及影響を与えるのかといったところは、今ここで1ページ目の
0:41:59	矢羽なるところで言葉では書いてますがこれを具体的にそれぞれフレームベース基礎ばり杭といった部材ごとにですね整理してお示しするようにと考えております。それと、ちょっと
0:42:16	本日お出した資料には、
0:42:20	記載がないんです。
0:42:22	保守性を評価する上で、例えば着目しなければいけない項目は、今のところをせん弾力ひずみ加速度変位といったふうに考えておりますが、それがなぜそれでいいのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:42:40	といったところの整理もお出ししたいと考えております。
0:42:51	で、あわせてですね、この先、
0:42:56	コサクですすいません、ちょっと話がどんどん膨れ上がってるので。
0:43:02	今言われた辺りが一番よくわかってなくて、
0:43:09	1 ページでまず①②③とあった上で、部材ごとにというので4 破砕が挙げられていてと。
0:43:17	ということなんですけど。
0:43:19	その後、分解があまり感じられなくて、
0:43:29	4 ページには、個別部材で縦には並んでいるものですね。
0:43:34	あと、4 パラメーターをこのページで①②①③④と分かれてるのはあって、何か関係性を示すような赤矢印はあるものですね。
0:43:49	これが具体的にどうい
0:43:52	ことになっているのか、先ほど言われた3 ページの各
0:43:57	評価事項に差異についての検討事項について、それぞれどういうことを見ていく必要はあるのかっていうのを、
0:44:08	整理をしたものっていうのはあまり見受けられないんですけどそのあたりどう考えて対応されてるんですか。
0:44:24	名サトウです。
0:44:32	ちょっと御回答でちゃんとなってるからあれですが2 ページ目。
0:44:39	を見ていただきたいんですが、
0:44:46	まず
0:44:49	この合理化モデルを用いるまでの前提がまずちゃんと整理されたという上で、それでは合理化モデルが科学的合理性があるかどうかといった点をしっかり確認しないとイケないというふうに思っております、
0:45:07	そういう意味では、その確認方法としては、もう保守性を有していることを、それから達成度があることを、Cの方。
0:45:20	モデルでいろんな場の設定パラメーターをしていますそれが適切であることといった確認。
0:45:28	今ですと必要だと考えております。ごめんなさい。はい。それはですね。
0:45:38	当たり前で当たり前なんですけど、保守性って何ですか。
0:45:44	解析精度ってどの程度だったら確保できているっているんですか。
0:45:47	パラメータ適切って何ですか。
0:45:53	というのが全くないから話ができなくて、結局その判断基準としては波及影響としてどういうところを押さえるべきなのかっていう先ほどの話になってですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:05	この三つの
0:46:06	項目を上げる意味があまり感じられないんですよ。
0:46:10	それぞれの話の中にこういう
0:46:13	内容はあるんですけど。
0:46:16	体系的に整理する中にこれだけポンと言われてもよくわからなくて、
0:46:21	んなという考えのもとでやられてるのかなってことです。
0:46:36	これ、
0:46:38	日本原燃佐藤です。
0:46:41	はい。
0:46:48	そうですねそういう意味では、
0:46:51	うーん。
0:46:55	もてるを用いるその
0:46:58	前提として、兵庫消化状況、担当厳しくなるような詳細モデルリングに対して厳しくなるようなものとコサクです。そこからそもそもでちゃんと厳しくって何かあった。
0:47:14	ていう話をしようとしているのに、
0:47:17	そこを定性的に済ます等としちゃうから話が進まないんですよ。
0:47:24	天然サトウです。
0:47:25	そういう意味ではまた1ページ目に戻っていただきたいのですが、やはり
0:47:33	棚倉部材も損傷が半期はっきりの教員結びつくというふうに考えておりました、じゃあその検証等はまずどういう力が加わったときに、高度のか。
0:47:53	そして5ヶ秋保影響が及ぶのかといった、まずこの整理が必要だと思えます。
0:48:00	総務部へ
0:48:04	評価に当たって発生する力が現実的な応答と比べて
0:48:15	少し大きめの保守的な評価となるようなた解析を用いることによって評価自体の妥当性は確保できるだろうというふうに考えております。
0:48:27	させれば、その保守的な評価を行うモデルというのは一体どういうふうに作ったらいいのか、どういったところを、まずは考えてそういったモデルの設定をします。
0:48:45	その設定が果たして本当にねらった通りの
0:48:53	一節の評価手法は、厳し目の保守的な評価を与える部分になっているのか。
0:49:00	規制庁発足です。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:04	大体言いたいことはわかりますけど、そこがですね、今の1ページで追っかけ切れてないってところだと思うんですけど、部材ごとに判断をしなきゃいけないってことからするとですね。
0:49:19	1ページの解析モデルのところだと施設の変形や加速度が大きくなるようモデル化するというので検証だと本当にこのモデルで変形が大きくなってるか、加速度が大きくなってるか。
0:49:33	ということだと思うんですけど。
0:49:36	それを各部材ごとにやってるってことですから、各部材ごとにやった場合に、それぞれ厳しいものが違う可能性があるってところをどういうふうに対応するのかとかですね。
0:49:50	さらにここは変形加速度ってことですけど、
0:49:57	4ページに行けばせん断力ひずみ、加速度変形と。
0:50:02	いう項目に分かれていて、その関係はどうなってるんであつてですとか、そこら辺の全体の体系の整理っていうのはどうなっております。
0:50:10	はい。
0:50:12	はい。原燃サトウですと1ページ目ございますその消波進路を示していますがこれまさしくおっしゃる通りフレームですとか群れする
0:50:25	質問ありといったように高齢国とは違ったそれぞれの発生する力によって部材の損傷というものがありますので、それは、
0:50:37	個別にですね、お示ししなければいけないと考えております。
0:50:42	それぞれ違った会計上もありますし、架構自体に与える影響も、例目ですと直接的に冷却とも栄光接触したりというような、その消耗度がありますが、
0:50:59	国は、例えばその支持力が失うことで、完成。
0:51:04	保守的に今度は飛ば傾いてそれがフレームに、
0:51:08	の悪さをしてというようなそういう損傷モードもございますので、そういったところをちゃんと整理した上で、来示したいというふうに考えておりました。
0:51:18	以上です。
0:51:22	規制庁黒くです。
0:51:24	今のがようやく
0:51:27	踏ま等高いと同じような気がしていいですね。そうすると今の1ページの解析モデルでアンダーライン引いたようなところの一言では済まないわけですよ。
0:51:38	その辺りをちゃんと整理をして体系的にまとめて検証として何をやれば十分だと思われるのかっていう話をしてくれと。
0:51:48	というのが、これまでお話ししていいと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:52	いうところ です。
0:51:55	はい、日本原燃佐藤です。ご指摘の通り、この一言でございも違いますので、ここでは
0:52:07	お示ししてきておりませんが、それをしっかり
0:52:13	ご確認的いただけるような形でA、A、
0:52:21	整理のそうさせていただきますと思っております奨励す。
0:52:29	規制庁不足です念のためにお伝えしておくPoint等をまとめて端的にという ようなときは、今の1ページの解析モデルのアンダーラインのところは、こうい う
0:52:46	まとめではなくて、先ほど言ったようにその部材ごとにこういうことなっ着眼点 から、
0:52:58	それぞれ対応するところですね、こういう検証するとかっていうように繋がるよ うに、
0:53:05	そのやっている項目の構成とかですね、そういうことを、全体像を示すと。
0:53:12	いう意味合いですので、そこら辺をまとめてしまうと。
0:53:16	結局何全体としてはどうなんだろうというのはわからなくなっちゃっているところ でそこら辺を注意して整理と思います。
0:53:27	分婉サトウです。ご指摘の点は全くその通りだと思いますので。今後資料の
0:53:37	作るにあたってばそういった点をちゃんと踏まえて、
0:53:42	対応するようにいたします。ありがとうございました。
0:53:46	規制庁コサクですってさらに3ページに行くと、今の部材ごとというだけではなく て、モデルとしての最後というようなことも、
0:53:55	出てきて、ただこのときに考えることは先ほどの変形のそれぞれの部材の変 形だったりっていうことで関連はしてくると思うので、その辺りも先ほど言った全 体像のところ、
0:54:11	示していただけるといやってることが、
0:54:15	一気通貫して対応されてるかどうかというのがわかるかなと思いますのでよろ しくをお願いします。
0:54:22	はい。名サトウです。
0:54:25	ご指摘の点は、まずは
0:54:29	ございます損傷のもうどう原因ってところはしっかり部材ごとに整理をするとい うふうにまとめさせていただきますと思います。そして、3ページにもモデルさ んについては、こちらはちょっとまた違ったあの求め方にはなるかと思うん ですが、それぞれ
0:54:49	歳以上の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:54	その目的、その評価方法はどうするのか、規制庁コサクです。先ほどその部分の内容を説明されたので考えていることわかりましたけど、
0:55:07	それだと、先ほどの波及影響として十分かどうかというところの説明が足りないと思っていて、
0:55:17	結局その例えばメッシュもですね、小さくなって振動数があつ周波数が下がってるけど云々ということを言われてましたけど何でそれを波及影響としてそれでいいのかという落としたら結局1ページの話に戻るんだと思ってるんですけど、何か私違うことを言ってますか。
0:55:41	日本原燃佐藤です。
0:55:44	名称違いが波及影響に要望数、
0:55:51	ことがないことをちゃんと確認をできているというそういう言及
0:55:58	特配とかないと、それは単にメッシュが違いましたという説明になってしまうので、そこはしっかり整理させていただきたいと思います。
0:56:10	以上です。
0:56:12	はい。規制庁子供ですがそのときにだから、その1ページに書かれたような着眼点ということ踏まえて言わないと一貫通貫した説明になってませんよってということです。
0:56:27	ここにですね。
0:56:29	はい。
0:56:32	すいませんちょっと私が勘違いしているのかもしれませんが。1ページ目の
0:56:38	一貫通貫というのは、施設の変形が大きくなる厳しい評価モデルの設定になっているかどうかといった視点での一貫通貫が取れてないというふうに定めればよろしいでしょうか。
0:56:52	規制庁コサクですけど変形だけには限らなくて、加速度かもしれないし、
0:56:58	っていうところですよ、その考えをまず1ページで整理をするということなので、それに基づいて適切なパラメータについて比較をしないといけないと。
0:57:08	ということだと思ってます。それがその4ページでせん断力沈み加速度変形というってそれぞれどういう関係にあるのかって言うの。
0:57:17	分析をしようとしてされていることだと思ってるんですけど。
0:57:23	原電の佐藤です。承知いたしました想定につきましては、はい。
0:57:28	総合要は評価を何か何のためにやっているのか。
0:57:37	着目すべきは何なのかというところが、バラバラにならないように、
0:57:44	はい。
0:57:47	その評価評価の評価というか、個別の確認を持って
0:57:55	目的等

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:57	を使っている条件といったところもちゃんと整理をした上で載せてまとめていきたいというふうに考えますとですね。
0:58:14	はい、よろしくお願いします。
0:58:16	すみませんまた横谷理事長ましたけども、戻します。
0:58:24	規制庁、上出です。恒設に意識があったのってきたような気もしつつ
0:58:32	ちょっと全般的に話を聞いていこうと思いますって一つ一つ確認しますけれど、なるべく手短になるようにしますので、お伝えしたいのは、やはり大事なポイントとして一つ全体的に体系的で
0:58:50	あることだ。だから今だんだん認識合ってきたと思いますけど、これ何のためにやっているのっていう前のページに戻れば書いてある当然その辺の通報がいろいろありそうですね、説明体系というのを作って欲しいと。
0:59:05	いうこととあとこれは何度も何度もために何度比較をするんですか。例えば東芝変形てっていうけど、これは土木の応答なんですかっていうところも企画のところ比較をする項目ではきちんと説明しておりますし、
0:59:24	いうことと、あとちょっと抜けてるのか、あの評価ケースの問題なんですね、全体的に何かどういうケースをやれば、波及影響、内ということで確認できるのか、評価ケースを
0:59:40	どう考えるかっていうところがあるん抜けてるなっていますので、まずそういうの問題意識が念頭にあると思っていただいて、少し確認をできればと思いますけど。
0:59:56	まず1ページ目の目的については、ここに書いてあることは当然のことなんですけど、後で検討いただければと思いますけど、その液状化する場、この資料液状化の決定してあるんですけど、説明資料としてはやっぱり
1:00:15	液状化しない場合も含めた全体体系提案の話をしてもらいたいんですね。
1:00:22	そういうふうに考えると、目的の中には、その液状化する状態しない状態、あとはその中間の状態を考えても波及的影響を与えないというのが目的になると思いますし、あとは基準地震動全部で13個あるので、それを考慮しても大丈夫だっていうところが
1:00:42	目的になるのかなと思いますので、この辺は全体ブラッシュアップして、改めてその目的っていうのをどう置くかっていうのを考えていただければと思いますけど、よろしいですか。
1:00:57	日本原燃佐藤です。もう少し何点か確認させていただきたいんですが、まず中間的な状態については、それをケースとしてとらえて評価する今
1:01:13	サトウではなく、中間的な状態がある意味その液状化、完全に液状化した状態、または液状化非液状化の状態、これを両方、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:30	この両極端をとらえていれば、中間的な状態は悪さをしないということを別途確認して、そうそれをお示しするつもり
1:01:41	です。
1:01:42	それと評価件数ですが、これももちろん 13%について行いたいと思っております。さらには硫産廃の中でやはり地盤のばらつきを見なければいけないような地震
1:01:59	でももう、影響の大きいものとして出てくると思いますので、その選び方についても、
1:02:11	次提出する資料の中で御説明させていただきたいと思っております。
1:02:20	以上です。
1:02:23	規制庁カミデです
1:02:26	なのでというのあれなんですけどそういったこともちゃんと後で説明されるんだと私は思っていてそのときに、なんでこれなのっていう所おきな目的があるはずで、もうそこでそういったことを記載大きな目的としてを置いておかないと。
1:02:45	体系化がちゃんととれないんじゃないかというのでお伝えしています。液状化の中間の状態は
1:02:54	の話もありましたけど必ずしもそれを評価して設計現実に入れなきゃいけないと思っているわけではなくて、
1:03:02	日は現場の状態を適切に表現するっていうところだと思うんですよ。で、例えばこれ絶対液状化するよっていうんであれば液状化のケース時あっても、適合はできるんです。ただ、実際そこどっちに転ぶかわからないっていう状態なので、液状化しない以上、
1:03:22	ダイトする状態を 2 ケース直しますっていう話をしているのだと思いますので、大きな目的としてはその基盤がどういう状態かわからないという確定的には決められないっていう状態であればその技術点の条件にあっても波及的影響を与えないって、
1:03:42	いうことを確認する必要だと思いますのでそういう意味でお伝えしたというところですか。何認識いただけましたでしょうか。
1:03:53	日本原燃佐藤です。はい、我々のもう
1:04:01	今液状化のパラメータとして一番液状化しやすい地盤のパラメータを設定しておりますので、それもですね、ある意味、地盤物性をちょっとで見るようなものと同じなんですけど、
1:04:16	その状態でも施設での影響を
1:04:22	気液液状化、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:25	これとはまた違った挙動しないことはしっかり確認して上で非液状化で消火の
1:04:40	解析ケースとして、
1:04:43	進めていくことは妥当だっていうことをお示したいというふうに考えておりました。以上です。
1:04:51	はい、規制庁カミデですと先に進めますけどその下の波及影響とはということでこれは一応ページにあるようなものを入れていくのではと思いますけど細かいこと言えば損傷っていうよりは、
1:05:07	冷却等の機能に影響与えないっていうところかと思えますんで、ちょっと細かいですけど、お伝えしておきます。その辺の
1:05:20	学級でっ景況発生しないことが確認をっていうところで、ここは今までもお話に出てましたけど大事なポイントです。
1:05:32	開示の資料の 5 ページと 6 ページとこう見ると、
1:05:38	本当にこれで全部なのかってあたりとか、
1:05:44	あとはその 5 ページにあるような①から⑥、実際には①から④になったと思いますけど、こういう影響モードというか、液状化の影響因子に対しての部材をどう評価するかっていうところをきちんと網羅的に、
1:06:03	こういってもらいたいと思います。その辺の関係性を明確にするっていうのと、あと部材って言ってるのが例えば今一番
1:06:15	地盤改良体みたいなどころとこだわってないですけど、活動の評価時にはその辺も見らんじゃないかと思えますので、想定きちんと網羅的に議論にさせていただければと思いますけど、よろしいですか。
1:06:33	日本原燃佐藤です。すいませんちょっと私の理解が追いついてないんで、まず部材の村瀬。
1:06:43	という口頭ですが、
1:06:46	今ここで挙げている部材自体はもう施設の構成部材すべてというふうに認識しているんで、それを
1:06:56	／なんかするか何かでお示しするような
1:07:02	形で確認するというふうに理解してよろしいでしょうか。
1:07:10	規制庁カミデです示し方はをもって達成しますけど、
1:07:17	表みたいな事立入でもわかりやすくできるんじゃないかとは思いますが。
1:07:28	日本原燃佐藤です。
1:07:33	申し訳ございません、ちょっともう一度表と言うと、
1:07:38	施設を構成するすべての部材はこれで、その中で、今回これを損傷の評価の対象としてるといふそういうような見せ方。
1:07:52	等というイメージをお持ちになってるということでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:07:59	規制庁カミデですと期生学校の構成部材だけ見ればいいと思っていなくてですね、それは日本原燃としてもそうなんじゃないかといって、
1:08:12	何を確認しなきゃいけないかっていうと、6 ページの資料ありますよねこれいっぱい棒で出てきたものを抜粋経過期間の結果を持ったものですけど。
1:08:25	これて、
1:08:29	要は、この項目、これもともと詳細モデルと今言っているモデルでの見通しを評価した空気だと思えますけど。
1:08:39	要は、ここの項目が県土満足性を発揮できる状態になってそういうことを考えてたんじゃないですか。
1:08:50	無限にサトウです。はい。そのように、ここで掲げている部材が周りにそもそもしなければ、
1:09:01	冷却塔の機能喪失というするような損傷を与えることはないというふうに
1:09:07	整理しております。
1:09:10	以上です。はい。
1:09:11	はい、規制庁紙ベースそれでこの 6 ページにおいてはそれぞれの評価対象部位に対して液状化の影響因子との関係もわかりますね。
1:09:23	影響因子に対してどういう部材の規制の性能評価指標でありますけど、どういう部材のどういうところになっていけないかっていう場、ここで整理されていると思うので、これをすべて評価ではないですけど、きちんとここに書いてあるようなエッセンスを
1:09:43	もう 1 ページ目んとこに当てて説明されるべきだと思っております
1:09:49	サトウさんはそれで表現しているつもりなのかもしれませんが今の記載で我々が見ると、そうすれがちゃんと表現されてるようには今の資料が見えないってところなので、ちゃんとわかりやすくしてくださいということです。
1:10:11	2 年サトウです。
1:10:15	ちょっと私の理解はちょっと今整理しますと、議長会因子として今ここで地盤の剛性と挙げてますが、剛性の低下に伴って
1:10:29	加工の方法等ですとか隔離の応答が大きくなる。
1:10:34	そのあとそれぞれ材の応答が大きくなることによってせん断力が大きくなったり、プレスのひずみが大きくなったり、あと規則の加速度が大きくなったり変形が大きくなったりすると。
1:10:50	というようなワンクッションが入った上で初めて
1:10:56	検討対象部材に
1:10:59	応答が大きくなったことがどう影響するのか、そういった整理を加えようと今思っておりますが、そう。それで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:12	そういったいろいろよろしいでしょうか。
1:11:16	規制庁カミデです。全体資料全体としては、今おっしゃってとか見えなきやいけ ないと思うんですけど、この1ページ目で示すようなはいて、そのテスト段階的 な
1:11:34	ここの加速度が大きくなってひずみ等を行って送水答案ボンとペース観点とこ ろを1ページ目で書いてしまった細か過ぎるで、要は波及的影響が発生しな いことの確認方法って言っているのだから波及的影響を与える。今日はいい。
1:11:51	戻って、どんなものですか。もしくはその液状化のモード、どんなものですかと いうことに対して、こういう部材に着目していきますということはまずはまずは その返答をオオオカていって、だんだんその体系的に詳細になっていくとい う、
1:12:09	イメージかと思ってましたけど、
1:12:12	このご理解いただけますか。
1:12:23	はい。
1:12:26	日本原燃佐藤です。
1:12:28	背景的能力。
1:12:32	こういったところに来るんつきませんということが一つ。
1:12:38	例えば、例えばですが、ペーシ。
1:12:42	今5ページ目。
1:12:50	うん。
1:12:57	すみません、資料の5ページ目をご覧いただきたいんですが、
1:13:02	今、
1:13:04	B、
1:13:07	BF波及的影響外へというふうに、最終目標が目標とか、確認すべきことがあ って、じゃそれが起きるのは、加工がどういう損傷にあるのかと。
1:13:20	いうことの御右側にもう少し
1:13:26	例えばどの部材がどうなると、このネット加工の損傷モードが
1:13:33	Pが起こるかといった、
1:13:38	構成繰入更にはじゃそのフレームが損傷するというのはどういう力が働いたと きに損傷するのか。
1:13:47	そういったステップを入れていこうというふうに考えておりますが、そういう整理 でよろしいでしょうか。
1:13:58	どっか未定です船体の説明コース定義すると、今波及的影響の①②③をベー スに展開して組む。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:13	というよりは、氷今回あの合理化モデルの説明をしていこうと思っているわけ ですよね。そういう意味だと
1:14:24	例えばここページって言うと、最終的には(エ)のところに看護集約されてます けど、その前のカッコdのところ、
1:14:36	それから展開していたと思うが、わかりやすいんじゃないのと、思いますで例 えば地盤の剛性低下っていうものを考えるときには学校とかあと案ボンドプレ スへの
1:14:53	応答増幅の影響がありますよねとか、あと、杭とか基礎についても地震慣性 力に対して見なきゃいけません。
1:15:02	鎮火っていうものをどう考えると、今度は杭の鉛直応力とか地盤の支持性能を 見だけすいません。
1:15:11	本当は活動とかっていう話になると、杭とかその改良地盤体のせん断抵抗力 というものを見なきゃいけませんよ。そういう形でここで整理をしておくで4ペー ジにあるような等の応答
1:15:29	2年だっていうところに繋がるんじゃないか、その前段として、今言ったような ことが整理されてきりなんじゃないかなと思います。
1:15:39	いかがですかね。イメージ持ってないですか。
1:15:43	日本原燃佐藤です。今の御説明でわかりました。そのような整備の仕方をしっ かりしていきたいと思います。ありがとうございました。
1:15:56	すいません規制庁タケダですね、ちょっと下げて申し訳ございません。再処理 事業部がよくからちょっと落ちてしまったみたいなんですけど、本庁のハバサ キさん許可できるでしょうか。
1:16:09	はい。ちょっと待ってください。
1:16:11	はい。
1:16:28	ただ、
1:16:34	規制庁ハバサキです。
1:16:37	日本原燃の再処理事業部以下のでしょうか。はい、ありがとうございます。日 本原燃の淵野です。はい、わかりました。
1:16:47	規制庁川崎です。続けてお願いします。
1:16:58	規制庁カミデですけど、タケダさん、このまま進めていいんですか。
1:17:03	はい。大丈夫です。
1:17:06	お願いします。
1:17:08	規制庁込んでですね。そうなるもまた次1ページ目でさき部材の総称という ところで、今例示だけ出てますけど、この部分は大事なところで先ほどもお話し していると思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:27	まずは一つ一つ丁寧に検討をしていただくということだと思います。その上で、1ページみたいなところに書くのであればすぐ前の詳細の整理を踏まえて、その様似的なところだけを
1:17:45	会計もらうような整理になるかと思いますがのでよろしくをお願いします。農業よろしいですかね。
1:17:53	じゃあ、
1:17:54	2億円月サトウです。については先ほどコサクさんからの御指摘もあった通り、は全体の中でのちゃんと全体ストーリーの中での位置付けがしっかり読み取れるような書き方をちょっと見直したいと思います。
1:18:15	以上です。
1:18:17	はい、規制庁込みですね、あとその下の堆積モデル東部最後損傷しないとの確認方法っていうのがちょっと
1:18:29	それまでのペースと違って、この解析モデルっていうのも合理化もてにを前提にして話だと思うんですけど、そこから上は合理化モデルだと詳細モデルだろうか、一次元のほうでは
1:18:45	同じ当たり前のその波及影響の検討方針ということで、ちょっと説明の継続がとられるので、コアの項目を入れてもらうと事業を受けるとかですね、ので反応ちょっとまた。
1:19:01	立地段階触ったところの具体の説明なんていうのがわかるようなちょっと説明の構成っていうものを意識してもらいたいですけど、よろしいですか。
1:19:17	はい。
1:19:20	日本原燃佐藤です。
1:19:23	またCのほうでお伝えしようと思っていたい等。
1:19:30	まず、
1:19:33	部材の損傷、当たりますが、
1:19:38	今この
1:19:39	無罪物理系
1:19:43	何サトウが目標を持って、
1:19:47	建家ええと。
1:19:50	すいません。規制庁カミデです。部材の損傷までは全体の説明整っていて、モデルがどんどん持ってるだろうと設計として考えなきゃいけないこととあってそその下の解析モデルっていうところからが、
1:20:06	この高次化モデルを採用するって決まってからなんか段階あれ一段階屋の詳細が説明なってるかと思ってるんですけど、そういうふうに使われませんでした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:23	リオ原燃サトウです。それでは
1:20:28	逆に言うと、
1:20:29	部材の損傷の厳しく与えるモデルというのは、こういう仕様のモデルを考えていますと、というような繋がりにしようと思っておりましたので、
1:20:49	ここで吸引、
1:20:51	いきなり以下の出るとい
1:20:56	を使ったと。
1:20:58	いうのではなく、損傷を厳しく与えるモデルは、こういう
1:21:07	モデル設定が必要だっというふうにしたかったので、松繋がるのかなということで描いてありますがちょっとそれがこの伝わるように少し表現のほうは見直したいと思うのですが、それではちょっと、
1:21:25	何かまたやはり違うベースになるっていうふうに
1:21:30	ということでしょうか。
1:21:35	規制庁カミデです。
1:21:38	ちょっと色分けがわかれば説明の色分けがわかればいいってことなんですけど
1:21:47	もう全体としての設計の考え方の説明をするのか、モデルの作り方の説明をするのか。
1:21:59	もう全体の課題があって、添モデルが骨格はるべき見て考え方が系でその結果こういうモデルを採用しますという段階があると思うんですけど、その辺の境が曖昧だったり、ごっちゃになっていると読む側としては、
1:22:17	読みづらいついていうところはあるんで、そういったところの説明の区分けみたいなところがきちんと表現されるように、資料項番の考えて欲しいというところですかね、どう細かくどう書くかは、
1:22:33	おまかせしますが、今までずっと共通全体の話聞いていた話だなと思って読んでいただいたり、限定的な話を書いて違う話を書いてあるとこんぼってしまっているのでお願いしますということです。
1:22:52	現在サトウです。今の御説明で御懸念の点やっと理解できました。
1:23:01	話の流れとして経営と整合するような、少し
1:23:06	記載はギアの分けなりを考えたいと思います。以上です。
1:23:14	規制庁コミュニティバスコサクです。念のためですけど。
1:23:18	今の解析モデルのところは、最初にする最初はまず佐藤さんが言われたように、上で言ってたようなこういうものを厳しめに評価できるようなものにと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:30	ということがあって、合理化モデルにつなぐためには、そう厳しくというときに詳細モデルだったらなりってという規定路線で定まって検証なりもされているようなモデルの作り方というのもあるんだけど。
1:23:48	こういうようなポイントがあるので、今回ニーズのこういうことがあるので、
1:23:54	その上で行った解析モデルの考え方。
1:23:58	を踏まえて、こういうようなことをやっていくっていうことを書き下すってイメージでいいですか。
1:24:07	原燃サトウです。
1:24:09	今もうご出席いただいた点、非常にわかりやすかったので、そういう表現。
1:24:17	その意図がちゃんと伝わるように、ちょっとここは帯同書きぶりを直したいと思いましたがとおっしゃいました。
1:24:27	以上です。
1:24:32	規制庁カミデです。そのあと系統部材が損傷しないことの確認というところがあるんですけど、ここも今の記載だと後ろ等の関係がよくわからない。
1:24:48	ていうところなので、ちゃんと繋がりが持っているように見直していただければと思います。
1:24:56	特に、
1:24:58	これって後ろのページのどこに関係するために今書いたんだっていうのは説明いただけますと、
1:25:11	はい。
1:25:21	日本原燃佐藤です。
1:25:25	側線その他部材が損傷しないことも確認をしても、詳しい説明を
1:25:35	それが今回入っていないので、ちょっとそこがどこへ飛ぶのかっていったところが読めなくなってますが、ある意味、部材無損傷とはという、檀から
1:25:50	解析のモデル
1:25:52	当として、その次にこの部材の損傷しないことの確認方法が、
1:25:59	規定ALM
1:26:02	それですと部材の損傷トマトがセットになって、
1:26:07	それを個別部材ごとにこういう損傷があってこういうふうに損傷しないことを確認するんだという、ここの説明に結びつけたいと思いますがそういう整理でよろしいでしょうか。
1:26:26	規制庁カミデです書きぶりはともかく考えていいということは考えて欲しいと思ってることは何か伝わってきてむき出しますんで全体整理に資料を作って、
1:26:42	そういう目で、このナビを見て、どこに何を書くべきかというところをきちんと整理いただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:52	はい、根元サトウです。真上から呼んでいて、ちゃんと花ストーリーが通るようなちょっと並びになり、記載の内容を意識して
1:27:08	修正のほうをいたします。以上です。
1:27:15	はい、規制庁コンデンサの上からだけじゃなくて下からも読んでみるっていうのが大事だと思いますので、お願いします。いや等を細かい話した内容ですけど、ここを統治インプット値って言うてるのか、これ何かっていうのは後段のところでも当然、
1:27:32	ちゃんと水産なきやいけないと思うんですけど、
1:27:37	インプット時期た計を見ると、例えばその案ボンドプレスみたいなところはインプット値っていうのではなかなか比較しづらいんじゃないかと思うんですけどその点は何か分けますと、
1:27:51	日本原燃佐藤です。ご指摘の点、ちょっと私も悩んでいて、実は何本でプレースのところはインプット値ではなくてもこれが応答値が
1:28:04	そう表状態を表すものなので、
1:28:09	フレームとか、基層ぱりとか杭の場合は、インプット値を使ってやっているんですが、
1:28:20	引き継ぎ自体がもうすでに
1:28:25	インプットっていうよりはもうこれがアウトプット値みたいな形になってますんでそこは少しちゃんとわかるような整理の整理とか表現のほうを工夫いたします。
1:28:37	以上です。
1:28:39	はい、規制庁カミデです仰ってもらったといいですって、
1:28:47	まず、
1:28:49	後段例えば4ページにあるようなところで比較する上ではですね、
1:28:55	5ページにある合のページにあるような評価項目に対して、詳細モデルは、
1:29:06	どこから持ってくるのか、例えば杭だったら詳細モデルはフリーモデル化してるからその取り出しますよね。
1:29:15	だけの合理化持てる遠くにモデル化してないから、じゃあどうやって取り出すのか、低詳細モデルって言うてるその刻印の応答杭への入力に相当するものは一体何なのかっていうところをちゃんと考えてもらった上で、
1:29:32	これとこれを比較して保守性を確かめますっていうところをまずはきちんと整理いただきたいと思っておりますけど、その辺は認識が合ってますかねあのやらなきやいけないと思っているってことはあったってですか。
1:29:49	2億円サトウです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:53	保守性の評価と合理化モデルをやるので、合理化モデル上程杭の発生する応力はこういうことになってます。
1:30:06	これ使えますってような整理はしますので、その前段で詳細モデルと合理化モデルをモデル化してあったりなかったりという違いがあるので、総合防災。
1:30:21	その違いがこういった英語応力を評価する上でというふう処理されているのかっていったところは、
1:30:32	詳細はちょっと無理かモデルの差分のところの説明でしっかり示すようにしたいというふうに考えますが、そういった整理でよろしいでしょうか。
1:30:45	規制庁カミデです。理解が合っていると思います。そういうふうにならんと順を追って成立性等体系的に整理されていて感じがすると思いますので、今おっしゃられたって、きちんと整理をしてもらえればと思います。
1:31:06	日本原燃サトウです。承知いたしました。
1:31:13	規制庁カミデです。そうすると、1 ページ目は終わったのでまた次 2 ページ目って切ったりと思います。
1:31:24	2 ページ目の最初の解析モデルの要件をこれは進むと、結構審決って、
1:31:31	一つ目の合理化モデルの要件っていうのはよく御我々のほうですね、
1:31:38	ここにこうってある内容っていうのは、
1:31:41	合理化も店の要件定義ちゃうとですね、
1:31:46	何ていうか、
1:31:48	解析モデルの要件定義上にありますけど、その東北的合理性っていうところを展開するようなものと提携校でなくてはならないっていうものだと思うんですけど、今ここに書いてある。
1:32:04	とは要は経営リソースの話とかってっていうのは、
1:32:10	リソースを削減できるから②っていうことではないですね、我々としては、例えばあんまり関係ない岩盤が全然関係ないので、そういう意味だとモデルの要件として何が必要なのか。
1:32:25	で、リソースとかの話してっていうのは何でこのモデルを採用してるのかっていう理由のとこだと思うので、もし説明したいのであれば別の枠にしてもらって、事業者として考えでこのモデルでやりたいこと。
1:32:43	モデルの採用目的みたいなところで書いてもらえればと思いますけど、今の点ご理解いただけました。
1:32:53	日本減じサトウです。ご指摘の提案。
1:32:56	合理化モデルの要件等採用目的は、少し一緒になってしまっていますので書き分けるなりちょっとともとして

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:33:04	別のところに表現するように、ちょっと表現緒元については見直したいと思いません。
1:33:12	以上です。
1:33:14	規制庁カミデです。あと、ちょっと確認なんですけど、この 200 ケースってどういうあれで、どういう山積みをして 200 ケースだとか、簡単に説明してもらえると。
1:33:28	あかん。
1:33:31	当初詳細モデル、
1:33:33	ですと、まず 13/A2Aだと全応力等、有効応力解析の×にさらに断面が 4 段目がある。
1:33:48	それと、
1:33:51	だと地盤帰国標準ケースのほかに多分駅、
1:33:57	影響の大きい波については、地盤のばらつきを考慮しなければならい。
1:34:03	それとあと中間すいません規制庁カミデですと一体は変わりましたはいきなりここに出てくるとまた等々を使うのかですね、
1:34:16	前で何も書いてないよということだと思いますと、一番スポット最初に言いましたけどあの解析係数をどう設定し、最終的にどうケースを設定するのかっていうところは、
1:34:32	きちんと説明をいただきたいと思うDますので、
1:34:38	うまく要件にこれを書く必要はなくて、
1:34:43	(4)、もし要件として書くんであれば、例えばばらつきだったり、中間的なところも踏まえても保守的になるようなモデルにします、もしくは、解析ケース 2 を選定しますっていうのは要件的なところで、
1:35:00	その要件を踏まえてじゃあどうやってその保守的なものをケースを選定するかっていうところは後ろで丁寧に説明されるっていうイメージなんですけど、そういう形で説明できそうですか。
1:35:18	文献のサトウです。今ちょっと中間的な評価が保守的になるようになっていうようなお話があったと思うんですが、それはちょっとあの要件とまた違う別の評価ですので走向は
1:35:37	Vm考えますが、すいません。規制庁カミデですかね、ちょっとその今回の話ってモデルモデルっていっちゃってるんですけど、モデルと解析ケースってセットだと思っていて、持てる中間的な状態っていうのは、モデルの要件っていうのは、解析ケースのように
1:35:57	エンドとは思ってるんですけど、そういう意味で、
1:36:02	モデルだけの話っていうよりもちゃんと解析ケースの話もセットで

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:09	話を進めていて最終的にこのモデルを使って、どのケースで評価をすれば冷却塔の悪影響を与えることは確認がちゃんととれますよってというところの結論に行き着くような御説明にしていきたいなと思ってるんですか。いかがですか。
1:36:30	日本原燃の佐藤です。
1:36:34	海水いいモデルも出るというよりは、解析自体の
1:36:42	機能訓練という
1:36:44	ファームGM含めて、
1:36:47	ちょっと整理できるように考えます。
1:36:52	はい、ちょっと御趣旨がちょっとわかりましたので、ウェイ。
1:37:00	うまくちょっと表現の方考えます。はい。
1:37:05	はい規制庁小峰です。中間的なところを外へ適用減衰を難しいところで物性値っていう意味で言うとお取り出し可能解析ケースって意味だとの検証として可能いうんであれば解析、計算していくことにはなると思っています。
1:37:24	ちょっと各要件はあるかもしんですけど支出として理解いただけたんじゃないかと思しますので、よろしくお願ひします。
1:37:33	日本原燃サトウです承知いたしました。
1:37:40	規制庁カミデですと次の行に今後持てるの特徴ですけど、
1:37:48	今、今ここにどれだけ書くかって言うのは
1:37:52	青森、
1:37:54	気にしているところではなくて、国指定のこの3ページ目のところでどれだけの仕組みを書くかっていうところで、それをやった上でそこに的なものを書いてもらえばいいという感じかと思ひます。
1:38:10	人露であれば全応力という抗力を同じモデルで評価できますよとか、
1:38:17	二段面だけ詳細モデルは読んだけど、いかに断面でできるっていうのは、なんていうのが特徴なのかなと思ひつつ、だからなんだっていうところもあるテーマこの辺は適切と、
1:38:32	してもらえればと思ひますが、よろしいですか。
1:38:39	はい。
1:38:41	日本原燃佐藤です。
1:38:45	全応力有効応力と同時に溶けるモデルだという。
1:38:52	これ合理化に限った話ではないの。
1:38:55	はい。
1:38:56	で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:03	違うの最初の目的として、その波及的影響を及ぼさないことを確認するこれは非基準オオオカと基準化両方についてやるんだと。
1:39:15	ということをやったおけば、ここで全応力有効応力の話は出さずともいえるのかなというのはちょっと考えましたが、いかがでしょうか。
1:39:27	はい、規制庁カミデさんのその辺は取捨選択していただいていると
1:39:33	結局はだからここで何を書くか、その後ろで何を説明しろ点の説明での繋がりを説明したいと思うの提案の全体構成をみ見てですね、ここに何を書いたら、流れがよく。
1:39:51	っていうところもしくはここに書く必要はないんだと思う記載やないっていうところを精査いただければと思いますので、お願いします。
1:40:02	日本原燃佐藤です。そういう意味だとか、その後段にある合理化モデルの確定合理性の確認の中でcポツに解析設定のパラメータ設定パラメーターの適切であることということで、項目を起こしてますので、
1:40:19	これとの繋がりも踏まえた上で、先ほど言われた2断面の話を書くのか、頭で杭のありなしを確認を少し表現は考えますが、そういった追記はいたします。はい、ありがとうございました。
1:40:37	以上です。
1:40:40	規制庁、五味です。
1:40:42	サトウを2ページ目の最後の高次化のところですけど、この辺は、
1:40:48	もう
1:40:52	はい。
1:40:52	お願いしたかったのは44ページにあるような
1:40:58	行動の比較をちゃんとしてくださいねっていうことをサノ
1:41:05	あとは3ページ目の差分を丁寧に考察してくださいと、3ページ目の考察もこん設定パラメーターっていうところだけじゃなくて、近傍の構造物込みシステムのところちゃんと説明してくださいということなんですけど今までの話を聞く限りスマイルは認識されたのかな。
1:41:24	思いますので。
1:41:28	基本的にこの
1:41:30	ただで言っていることってというのは、3ページを、ページ以降できちんと整理をされて村政の結果のあらましを書いてもらうということだと思いますので、まずは詳細結果丁寧な3号比較なり遅くなりをしてもらってというところだと思いますので、よろしくをお願いします。
1:41:53	はい、日本原燃佐藤です。
1:41:56	15日の審査会合では

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:02	くいですはつきり接種とかモデル化の数本のフォルムねこれ一緒くたにしてちよつと御説明して単に持とうが、
1:42:13	変わらないんで問題ないというようなそういう説明でしたので、そこはご指摘のあった通り、個別にもう少しちゃんと丁寧に、その違いがどんな影響があるのかって、
1:42:25	そういった目的から入って個別の説明をさせていただきたいと思います。
1:42:32	そういう意味では3ページ目にある
1:42:36	症の設定パラメーターの各項目Aとか文楽限りばらした状態で御説明AM意見一応的な整理の仕方を今しておりますので、そういった形で、
1:42:52	今後確認というようなことで、
1:42:56	よろしいでしょうか。
1:43:00	はい、規制庁込みです。よろしくお願ひします。次に3ページのところで言おうと思っておりますけど、一つモデル化寸法のところで幾つかありますけど、これも一緒くたに説明できるものでも多分なくてですね、
1:43:16	そう、それぞれ完全にこれは保守側に行けますよっていうものだったり、保守側に行く性伝統機器保守側に行く制度凝固あわせ持ってますっていうところもあると思いますかの重量が増えるんだけど、構成は終わっちゃうみたいなの、
1:43:34	どっちに行くんだみたいなのところもありますけど一つ一つどういう性能を持ってんだみたいなのところは、説明いただければと思いますので、よろしくお願ひします。
1:43:51	ハイパーの日本原燃佐藤です。
1:43:54	そういう意味で個別にはどのような影響があるかっていう考察を
1:44:03	整理させていただきたいと思っておりますが、
1:44:07	ただ個別個別の細かい差異による定量的なさがどれぐらいになるかって言ったとか、規制庁上出です。
1:44:21	すべて、例えば基礎幅を合わせることに付いて、定量的な評価をするような2ケースモデルを作ってあったよ見せてくださいなんていうつもりはサラサラあとないですのでその起きても意味がなくて十分
1:44:36	考察っていう部分で技術的な説明可能だと思いますので、きちんとそういう説明をしてください。
1:44:44	人間のサトウです。そのように、恒設加えて、内容の違いがちゃんとどういう影響があるかについては、
1:44:56	説明しているような表現を表現的対応いたすようにいたします。
1:45:01	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:07	規制庁カミデです。そうするとまた3ページの話もたいとしましたし、4ページについては
1:45:18	まずはその今までの潮流の話を全体ちゃんと整理すると、何を見せればいいのか、地方のずっと出てくると思いますので、一つ一つ細かに確認をしないんですけどちゃんと流れを見て体系結構結論が導き出さ整備性
1:45:36	ちょっと気になると思います。
1:45:43	日本原燃佐藤です。
1:45:45	すいません4ページ目でちょっと記載に
1:45:51	がわかりづらいところがあるんですこれだけちょっと御説明いたしますと、
1:45:56	右側の
1:45:58	とても広がって部材評価に用いる応答値、日だけ規制があったんですが、
1:46:06	特に税の方が今合理化持つbの方が詳細モデルというようなイメージでちょっと記載しておりました。そこは補足させていただきます。
1:46:23	はい。以上です。
1:46:27	規制庁込みでです4ページについては今までの整理を踏まえて全面見直し系。
1:46:35	1から整理してもらえればと思ってます。
1:46:39	今ちょっと目についたところで売って4ページの表の
1:46:45	おっきな3分割の一番下でピーク要素ってとこありますね。実行力杭(エ)は/day格好良い上回るなんだけど、当然とり比較できません以上じゃ進まなくてですね。
1:47:02	そうは言っても、杭の評価をするのだから、どういうところで、
1:47:09	どこかしらがチェックはできるはずでもっと言っちゃうとインパクトじゃなくても評価結果ですね、これの評価結果強調おんなじでしょうから、融度でみますっていう話も、
1:47:24	あるかもしれませんので、そういうところをきちんと整理されると思いますけどもねね押しでお話をしております。
1:47:35	日本原燃佐藤です。そういう意味では、やはりこども
1:47:42	説明がおっしゃる通り腐食性系が
1:47:47	杭の軸力はどうするんだってところがありませんので、そこはしっかり
1:47:58	杭のありなしの検討のところ、所つつ、
1:48:06	確認いただけるように、
1:48:10	次の方からいたします。はい。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:16	規制庁カミデですかと最後の結論の部分としては、今、モデルは多分こうしますっていう結論になってるんですけど、最終的に評価ケースの方も可能となるのかっていうのは示して欲しくて、
1:48:33	全応力でなんかわけなんか下段ケース。
1:48:37	劇場法で何かけな貢献がケースになりますっていうのも結論として示してもらいたいと思ってます。よろしくお願いします。その上でばらつきのケースを
1:48:52	なるべく減らしたりとかですね、いうことを考えるのであれば、それがなんでいいかということで説明が必要だと思いますので、よろしくお願いします。
1:49:04	はい。日本原燃佐藤です。件数についてはおっしゃる通り非標準的なやつは、13%で全部やるんですが、ばらつきについては評価する波これどういう根拠で選定する。
1:49:21	どういう目的で選定するのか、選定方法はというふうにするのか、選定方法。
1:49:30	うん。
1:49:31	考え方が正しいのかと。まあそういったところも含めて、ちょっとあの解析ケースをどうするのかといった表現は記載は整理今してるようにいたします。
1:49:46	はい、規制庁カミデです。よろしくお願いします。あと今日の資料の7ページ8ページについて2ような介護で説明を受けたこの検討の
1:49:59	そうですね。今4ページまでの間には特に入っていないので、きちんと適切な場所に埋め込んでもらうっていうことなので、その点もあわせて図の整理いただければと思いますけど、よろしいですか。
1:50:17	はい、日本原燃佐藤です。こちらについても前回平均中部用いた形で本当にこの中間的な状態。
1:50:31	表現し切れているのかみたいな指摘もございますのでそれ含めてそういった考察をしっかりと加えた状態でこちらのほうには反映させていただきたいと思えます。
1:50:48	それとすみませんちょっと
1:50:51	当初も確認ですが、
1:50:56	すみません先ほどカミデさ、こちら全面見直してというふうに言われていたかと思うんですが、
1:51:05	全面見直すというちょっと意図のほうをちょっと私よく理解できていません。はい、企画ですけど、申し訳ないけど許可のヒアリングもやらなきゃいけない、はい。そうですね。そもそも4ページは1ページにちゃんと書いてくれとかっていう話も入り込んでいるので、
1:51:26	先ほどまでにカミデから行った。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:30	内容を1ページにどう変えて2ページに書いてって、その1ページ2ページに書いているような3ページ目ですかね、前のほうに書いてあるものを踏まえて、このページがあるってことの構成をちゃんと整理をするってということだと思います。
1:51:46	農業にサトウです。ご指摘の点そこはあれをもって理解いたしましてありがとうございます。はい。そういう意味では、の部材の損傷というところもちゃんと
1:51:57	湯の評価のところも入れた上で整理だと。
1:52:03	考えます。はい。以上です。
1:52:08	規制庁、カミデさんの成果イメージを先に今の仕様のストっていうのは前段の方が着席して何を説明するかというのを考えてもらえればと思う。すいません長くなってしまいましたけど、私のほうからちょっとです。
1:52:28	規制庁タケダです。大分時間も押してきているんですけど、その学生町側から確認ございますでしょうか。施設話せ長の方どうぞ。
1:52:40	すみません、規制庁のキシノです。ちょっと1点だけ、先ほど佐藤さんからですね3ページにあるような合理化モデルの特徴というか詳細モデルとの差異については、確認を一行一行、できるだけ分離して評価するっていう説明があったので、おそらくその説明の中に入ってくるのかなと思いますけども、
1:52:59	合理化モデルは金蔵近傍の構造物が考慮しないということで、全体を液状化するもので指導層としてモデル化したほうが安全かどうかという、前提に立ってスタートしていくということでそれは定性的におそらくそういうことなんだろうから、
1:53:16	そうだろうなというふうにどういうはできるんですけども、そうすることで逆に非保守的になるようなことはないのかっていう確認は今することを考えていますでしょうか。例えば全面定量化してしまうとその液状化層っていうのは多分荷重を伝えないゾーンになっちゃうので、
1:53:36	逆にそうすることでネットとか改良体が楽になるっていうこともあり得るのかもしれないですし、地盤改良体と埋戻しとの間の境界条件こういったものを今後ちゃんと確認してますけど、それ次第によってはですね、
1:53:51	その際ですねグループ同士でも液状化によって変わってくるか重篤ば左右でバランス取っちゃってですね、100人その安定化の方向に採用してしまうということも想像する場合にはあり得るのかなっていうふうに思ってます。そういったことはないよっていうふうに説明をするのか、もしくはそういったことも視野に入れて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:10	本当にこれでいいのかっていう検証は後々やるつもりで考えているのか、その辺りまた次回のときにですね、考えを聞かせて見ていただければと思うんですけども、現時点では考え方を教えていただけますか。
1:54:25	本件にサトウです。15日の会合資料のほうに、こちらの通すなりを全部埋め戻したとする場合としない場合、これはちょっとモデルが
1:54:41	くるバージョンのモデルなんですけどやっている。状態の違いというものは表現できていてその際に、灯油さが
1:54:52	出るのかあんまりいわゆる戻しでもが保守的に出るという
1:54:58	定量的な
1:55:01	その結果もお示してますんで、ちょっとそれをそのまま持ってくるのかももう少し違った形で
1:55:11	お示しするのか、ちょっと網今
1:55:14	衣笠のこと相談中ですが、その項目についてももしっかり説明するようにはいたします。以上です。社長のキシノです。通15日のときの説明で、例えばそのネットの右と左でですねその液状化の程度が違いが生じた場合の影響とかも含めて説明できるということ。
1:55:34	例えばそういった形でもいいのかもしれないんですが、ちょっとそういった辺りはどうなのかそういったものがあり得ないよということで、根拠を持ってそれを指定するというのはそれでも構いませんので、ちょっと説明の準備の乗り換えしたいと思います。以上です。
1:55:57	この減免サトウです。
1:56:00	はい。はい。ずっと左の違いといったところもちゃんとお示しできるようなそういう評価評価というか、
1:56:10	分析を踏まえた
1:56:14	このお示しするようにいたします。以上です。
1:56:34	規制庁ハバサキです。他になるようなら、許可のほうの上になるということなんですけど、ちょっと最後にですねちょっと全体を通してなんですけれども資料自体ですね今日非常に時間もかかった原因だと思うんですけども、規制庁側は例えば今日みたいなコメントを食ったときに、
1:56:54	それに対する答えがですね三紀となる答えに対してこう枝葉がかなり多くなって結局その右が見えなくなっているような、そういう傾向があるんですねちょっとそこら辺、もう一度この資料を作る上でもですね、そういう観点で資料の作成のほうをお願いしたいと思います。
1:57:13	事業者の方よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:57:18	現年サトウSはい。一行一行追う細かい分析機能をパートがありますんで、ここに個別に飛ぶのではなく、まずは全体像として何を
1:57:34	やらなきゃいけないのかっていった一つのまとめを入れた上で英語
1:57:42	別の項目テーマについて説明するようなそういう、ちょっと整理の仕方を考えたいと思います。
1:57:52	その形でよろしいでしょうか。
1:57:55	以上ですはい規制庁浜崎です。はい、考慮してお願いしたいと思います。私からは以上になります。
1:58:04	規制庁とけばですね、僕は規制庁側確認事項ございますでしょうか。
1:58:14	よろしいでしょうか。
1:58:16	よろしければ、日本原燃の方から資料の修正方針について確認をお願いいたします。
1:58:24	はい。
1:58:26	基本概念でございますのでイナズマですと、本日、当資料につきまして、いただいたコメントについては、もちろん一つ一つで詳細な回答できるように資料を修正するとともに、全体的にですね、全体の今回の計画等に対して極東のネットに対する
1:58:44	再評価アンケート的影響評価というのは全体的にどのようになっているのかというところを体系的にお示するという観点で、市長のほうは作成し、潮流のから、しっかり下流まで一貫通貫で説明できる形で修正のほうは進めていると考えてございます。
1:59:01	本日、県側形状とも、機械情報についての発言のかというふうに認識してございます。以上でございます。
1:59:14	規制庁竹野です。ありがとうございます。
1:59:17	それでは全体通しまして規制庁側から何かございますでしょうか。
1:59:24	三つ目ですけど、今日が話を踏まえて、洞道に話をしたそちらの作業スペースジュールとこ、資料の提出スケジュールの見通し
1:59:36	等あれば、説明いただきたいんですけど、特に変更はないですか。
1:59:44	日販連イナズマです。はい。本日のコメントのヒアリングを受けた修正につきましては、レポートを監視させていただきますとおり、10月30日に資料として提出したいというふうに考えてございます。以上です。
2:00:05	規制庁カミデですか
2:00:08	ということなので、きちんと回答をこちらの疑問にですね、答えられるようなアウトプットとかっていう形でおそらく結果もついてきてるっていうことのそういう資料が出てくるものと考えてチェックします。よろしく申し上げます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:30	日本原燃イナズマですはいかしこまりました。
2:00:36	はい、影響するほか、確認ございますでしょうか。
2:00:42	よろしいでしょうか。案件から何かありますでしょうか。
2:00:47	日本原燃の渚野です。減免側からは特にございません。
2:00:52	規制庁タケダですよ。
2:00:54	それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。コスプレ様でした。
2:01:00	まず様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。